様式２－３－２

研究機関名：仙台医療センター

受付番号：

【研究課題名】

心臓外科術後の酸素療法期間の研究

【研究期間】

西暦　　倫理委員会承認後　～　　2025　年　　8　月

救命救急センターで2024年1月1日より12月31日まで心臓外科手術後、人工呼吸器装着をした症例。非侵襲的陽圧換気(NPPV)や高流量鼻カニュラ酸素療法（HFNC）試行期間と体重の変化、患者水分量として患者に入った輸液量などの総量と患者から出た尿や出血などの総量による水分出納バランス、集中治療室滞在日数、入院日数を後方的に観察研究する。

【研究目的と方法】

研究目的：人工呼吸器装着期間が長いと集中治療室入室期間も長くなり、入院期間にも影響する。非侵襲的陽圧換気(NPPV)や高流量鼻カニュラ酸素療法（HFNC）を使って患者の抜管時期を早めようとする試みがされている。また、集中治療室滞在日数の増加は医療費の高騰を招いている。手術侵襲により、生体は水分を多く必要とする。術後も、水分の出納バランスがプラスに傾きやすい。水分過剰により、患者の肺の酸素化も悪い時期が続く。そのため、NPPVやHFNCを使用することが現在では一般的である。2024年1月からの１年間救命救急センターで心臓外科術後人工呼吸器を装着した症例の人工呼吸期間、人工呼吸終了後に酸素療法としてNPPVやHFNCを使用した期間と術後患者の体重の相関があるか、水分バランスと相関があるかを後方視的に観察研究する。

方法：救命救急センターで2024年1月1日より12月31日まで心臓外科手術後、人工呼吸器装着をした症例。HFNC、NPPV試行期間と体重の変化、患者水分量として患者に入った輸液量などの総量と患者から出た尿や出血などの総量による水分出納バランス、集中治療室滞在日数、入院日数を後方的に観察研究する。

【研究に用いる試料・情報の種類】

カルテから情報を得る。

【外部への試料・情報の提供】

日本集中治療医学会、日本呼吸療法医学会で発表する。仙台医療センターホームページで発表する。

【試料・情報を利用する者の範囲】

集中治療室：佐藤大三、救急部　川副友、岡本篤史　麻酔科　吾妻俊宏

【問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

仙台医療センター　　集中治療室　　佐藤　大三(代表研究者)
〒983－8520　仙台市宮城野区宮城野２－１１－１２
TEL:　022　－　293　－　1111
FAX:　022　－　291　－　8114